



平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 生坂 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 定時株主総会開催予定日 平成29年6月27日 配当支払開始予定日 平成29年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 平成29年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	17,373	△5.7	2,047	2.9	2,003	4.9	986	31.4
28年3月期	18,420	△10.9	1,989	△36.6	1,910	△38.6	751	△53.3
(注) 包括利益	29年3月期 1,331百万円(42.0%)		28年3月期 937百万円(△44.4%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年3月期	86.00	—	6.6	7.8	11.8
28年3月期	65.44	—	5.2	7.1	10.8

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 ー百万円 28年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	25,450	17,311	60.2	1,334.11
28年3月期	25,848	16,440	56.5	1,272.44

(参考) 自己資本 29年3月期 15,311百万円 28年3月期 14,603百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	3,310	△889	△1,477	6,313
28年3月期	2,297	△682	△1,601	5,441

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00	298	39.7	2.1
29年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00	298	30.2	2.0
30年3月期(予想)	—	10.00	—	16.00	26.00		29.8	

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	18,500	6.5	2,100	2.6	2,000	△0.2	1,000	1.3	87.13

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期	11,500,000株	28年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	29年3月期	23,067株	28年3月期	23,067株
③ 期中平均株式数	29年3月期	11,476,933株	28年3月期	11,476,986株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年3月期の個別業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	13,979	△5.0	656	43.9	800	△1.0	645	11.0
28年3月期	14,712	△16.6	456	△77.4	808	△63.6	582	△59.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期	56.28		—					
28年3月期	50.71		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
29年3月期	20,397		13,804		67.7	1,202.76		
28年3月期	19,722		13,416		68.0	1,168.98		

(参考) 自己資本 29年3月期 13,804百万円 28年3月期 13,416百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	
(1) 役員の異動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調が続く一方、英国のEU離脱問題や米国の政権交代による金融政策の動向などの日本経済への影響が懸念され、景気の先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車用特殊ビスフェノールは好調に推移し、半導体・フラットパネルディスプレイ（FPD）関連の需要にも回復傾向が現れてきておりますが、クレゾール誘導品は市況安や円高の影響を受け、また、自動車用以外の特殊ビスフェノールについては一部で需要減速等が継続し、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、既存コア製品の拡販や、新規製品の開発促進と市場への早期投入に注力するとともに、和歌山工場のコスト競争力強化策を実施し、収益力の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当期の業績は、売上高17,373百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益2,047百万円(同2.9%増)、経常利益2,003百万円(同4.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益986百万円(同31.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当期においては、販売数量は増加しているものの、競合激化による市況の下落及び円高の影響等から販売価格が低迷したため、売上高はほぼ前期並みとなりました。

・ビスフェノール

ビスフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる耐熱性・精密成型性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン（PPSU）の原料として使用されております。

当期においては、情報通信機器市場の低迷によるLCP向けの販売減に加え、PPSU向けについても需要は堅調であるものの、円高による販売価格の低迷や顧客での生産タイミングのズレ等により、売上高は前期を下回りましたが、コスト削減効果に加え、ベンゼン市況下落に伴う原料値下がりもあり増益となりました。

その結果、化学品セグメントの売上高は、7,261百万円(前年同期比7.2%減)、総売上高に占める割合は41.8%となり、セグメント利益は578百万円(同121.5%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ（FPD）等の製造過程で使用されております。

当期においては、半導体市場では中国スマホメーカー向けの需要が堅調であり、FPD市場についても第4四半期以降は市況が回復しており、売上高は前期を上回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

当期においては、成形材・光学用途の一部でサプライチェーンにおける競合激化や新規案件の立ち上げ遅れが発生したため、売上高は前期を大きく下回りました。

その結果、機能材料セグメントの売上高は、3,969百万円(前年同期比6.6%減)、総売上高に占める割合は22.8%となり、セグメント利益は350百万円(同26.6%減)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しており、引き続き需要は好調に推移しておりますが、為替換算等の影響により、売上高はほぼ前期並みとなりました。

・受託品

受注数量が減少したため、売上高は前期を下回りました。

その結果、工業材料セグメントの売上高は、5,801百万円(前年同期比2.0%減)、総売上高に占める割合は33.4%となり、セグメント利益は1,902百万円(同0.4%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は340百万円(前年同期比20.5%減)、総売上高に占める割合は2.0%となり、セグメント損失は98百万円(同20.0%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

流動資産は、現預金の増加(871百万円)、売掛金の増加(498百万円)、商品及び製品の減少(428百万円)等により、対前年同期比463百万円増加し、15,199百万円となりました。

固定資産は、対前年同期比860百万円減少し、10,251百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年同期比397百万円減少し、25,450百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加(204百万円)、未払法人税等の減少(111百万円)、長期借入金の減少(1,038百万円)等により、対前年同期比1,268百万円減少し、8,139百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(688百万円)、非支配株主持分の増加(163百万円)等により、対前年同期比870百万円増加し、17,311百万円となりました。

この結果、自己資本比率は60.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,310百万円(前年同期比44.1%増)の収入となりました。これは主に税金等調整前当期純利益、減価償却費、売上債権の増加、棚卸資産の減少等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、889百万円(同30.4%増)の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,477百万円(同7.7%減)の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出、配当金の支払等によるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、対前年同期比871百万円増加し、6,313百万円になりました。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績予想につきましては、以下のとおり見込んでおります。

(単位：百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	17,373	18,500	1,126	6.5
営業利益	2,047	2,100	52	2.6
経常利益	2,003	2,000	△3	△0.2
親会社株主に帰属する当期純利益	986	1,000	13	1.3
1株当たり当期純利益(円)	86.00	87.13	—	—

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,441	6,313
売掛金	4,192	4,691
商品及び製品	3,445	3,016
仕掛品	388	270
原材料及び貯蔵品	861	645
繰延税金資産	62	94
その他	343	167
流動資産合計	14,735	15,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,668	4,778
減価償却累計額	△2,895	△2,984
建物及び構築物（純額）	1,773	1,793
機械装置及び運搬具	35,047	34,844
減価償却累計額	△27,386	△28,129
機械装置及び運搬具（純額）	7,660	6,714
土地	548	543
建設仮勘定	83	54
その他	1,363	1,502
減価償却累計額	△1,178	△1,207
その他（純額）	185	294
有形固定資産合計	10,251	9,400
無形固定資産		
その他	60	48
無形固定資産合計	60	48
投資その他の資産		
投資有価証券	146	191
繰延税金資産	588	516
その他	66	95
投資その他の資産合計	800	803
固定資産合計	11,112	10,251
資産合計	25,848	25,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,510	1,714
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,022	958
未払金	448	401
未払法人税等	419	307
設備関係未払金	295	259
役員賞与引当金	19	15
その他	472	459
流動負債合計	5,186	5,116
固定負債		
長期借入金	1,277	239
リース債務	954	896
役員退職慰労引当金	105	55
退職給付に係る負債	1,829	1,797
その他	55	34
固定負債合計	4,221	3,023
負債合計	9,407	8,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,204	12,892
自己株式	△14	△14
株主資本合計	14,703	15,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	60
為替換算調整勘定	49	△90
退職給付に係る調整累計額	△169	△50
その他の包括利益累計額合計	△99	△80
非支配株主持分	1,836	1,999
純資産合計	16,440	17,311
負債純資産合計	25,848	25,450

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)		(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
売上高	18,420		17,373	
売上原価	14,550		13,454	
売上総利益	3,869		3,918	
販売費及び一般管理費	1,879		1,870	
営業利益	1,989		2,047	
営業外収益				
受取利息	0		0	
受取配当金	3		3	
受取補償金	—		23	
その他	28		7	
営業外収益合計	32		34	
営業外費用				
支払利息	61		49	
撤去費用	23		13	
固定資産除却損	25		15	
その他	2		1	
営業外費用合計	112		79	
経常利益	1,910		2,003	
税金等調整前当期純利益	1,910		2,003	
法人税、住民税及び事業税	664		594	
法人税等調整額	11		△17	
法人税等合計	676		576	
当期純利益	1,233		1,426	
非支配株主に帰属する当期純利益	482		439	
親会社株主に帰属する当期純利益	751		986	

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益	1,233	1,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	40
為替換算調整勘定	△47	△254
退職給付に係る調整額	△211	118
その他の包括利益合計	△296	△95
包括利益	937	1,331
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	475	1,006
非支配株主に係る包括利益	461	325

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	1,500	1,013	11,751	△14	14,250	58	75	41	175	1,732	16,159
当期変動額											
剰余金の配当			△298		△298						△298
親会社株主に帰属する 当期純利益			751		751						751
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△37	△25	△211	△275	103	△171
当期変動額合計	—	—	452	△0	452	△37	△25	△211	△275	103	280
当期末残高	1,500	1,013	12,204	△14	14,703	20	49	△169	△99	1,836	16,440

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	1,500	1,013	12,204	△14	14,703	20	49	△169	△99	1,836	16,440
当期変動額											
剰余金の配当			△298		△298						△298
親会社株主に帰属する 当期純利益			986		986						986
自己株式の取得					—						—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						40	△139	118	19	163	182
当期変動額合計	—	—	688	—	688	40	△139	118	19	163	870
当期末残高	1,500	1,013	12,892	△14	15,391	60	△90	△50	△80	1,999	17,311

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,910	2,003
減価償却費	1,524	1,373
固定資産除却損	25	15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25	△49
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	351	△31
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	61	49
売上債権の増減額 (△は増加)	650	△523
たな卸資産の増減額 (△は増加)	315	756
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,135	209
その他	△199	61
小計	3,527	3,861
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△62	△49
法人税等の支払額	△1,170	△504
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,297	3,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△647	△883
その他	△34	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682	△889
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△894	△958
配当金の支払額	△297	△297
非支配株主への配当金の支払額	△357	△162
リース債務の返済による支出	△51	△59
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,601	△1,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21	871
現金及び現金同等物の期首残高	5,419	5,441
現金及び現金同等物の期末残高	5,441	6,313

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本店に製品別の事業部を置き、各事業部は所管する製品について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントで構成されており、「化学品」、「機能材料」及び「工業材料」の3つを報告セグメントとしております。

「化学品」は、クレゾール誘導品、ピフェノール等を生産・販売しております。「機能材料」は、電子材料、特殊ビスフェノール等を生産・販売しております。「工業材料」は、主にハイビス社の特殊ビスフェノール、受託品等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、当社グループは、内部管理上、事業セグメントに資産を配分しておりませんが、減価償却費及びのれんの償却額は配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,824	4,248	5,918	17,992	428	18,420	—	18,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,824	4,248	5,918	17,992	428	18,420	—	18,420
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	261	478	1,909	2,648	△122	2,525	△536	1,989
その他の項目								
減価償却費	489	245	721	1,457	40	1,497	26	1,524

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△536百万円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△536百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,261	3,969	5,801	17,032	340	17,373	—	17,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,261	3,969	5,801	17,032	340	17,373	—	17,373
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	578	350	1,902	2,831	△98	2,733	△685	2,047
その他の項目								
減価償却費	374	233	689	1,297	39	1,336	36	1,373

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△685百万円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△685百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
1株当たり純資産額	1,272.44円	1,334.11円
1株当たり当期純利益金額	65.44円	86.00円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権等潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	751	986
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	751	986
期中平均株式数(千株)	11,476	11,476

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日開示の「代表取締役及び役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。